やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」（青森）発行

誌　　名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	34 / 2014 / 6　(再編集版)
タイトル	青森市のハグロトンボ　2013年の記録
著　者　名	室谷洋司

自然を見つめる やぶなべ会（青森）

青森市のハグロトンボ　2013年の記録

第10代　室谷　洋司

本誌第30号（2011年）に「ハグロトンボが帰ってきた！」という小文を書いた。戦後、河川などの水環境が極端に悪化し、そこに住む水生生物が極端に衰退したが、近年になって一部の種に復活が見られるようになった。ハグロトンボもその一例で、これを指標としてその推移を追って見ようと、「やぶなべ会員」ほかからの情報をもとに本誌に集約することにした。

2012年の記録（本誌第32号、2013）に続いて、2013年の記録について、つぎに列挙する。なお、県内の都市部に近い事例（弘前市）として、「陸奥新報」（2014年1月12日付）の記事を情報として本誌15頁に掲載したので併読をお願いしたい。

2013年の記録

桑原　7月31日：水路付近で1頭（五十嵐正俊氏知人）

桜川　9月7日（14時）：1頭目撃（佐藤博氏）

高田　8月上旬：里山の林内で1頭目撃（古木誠氏）、8月29日（14時）：同所（室谷洋司）

新城　7月17日（10時30分）：しらかばビオトープで1頭（小山内孝氏）、同月26日（13時45分）：同所付近で1頭目撃（五十嵐正俊氏）、8月3日（11時）：しらかばビオトープで1頭目撃（小山内孝氏）

油川　7月10日（午後）：中道の自宅池付近で1頭目撃、同月13日：自宅裏の水路で1頭目撃（以上、五十嵐豊氏）、同月15日：同住宅地の庭で1頭目撃（小笠原ミツエ氏）、8月9日：上記住宅地に近い天田内川に架かる中道橋付近で約10頭観察（五十嵐豊氏）

このほかに、トンボ研究家・高橋克成氏のホームページ「トンボの素顔」には、青森市内の観察例として、7月6日：宮田の新青森県総合運動公園付近、同27日：野内の小川・水路と諏訪沢の水路、同31日：牛館川防災調整池そばの湿地、8月2日：野木和公園そばの水路、同23日：宮田の溜池、9月11日：諏訪沢の牛蒡畑堤、などが掲載されている。

情報を提供された各氏にお礼を申し上げる。